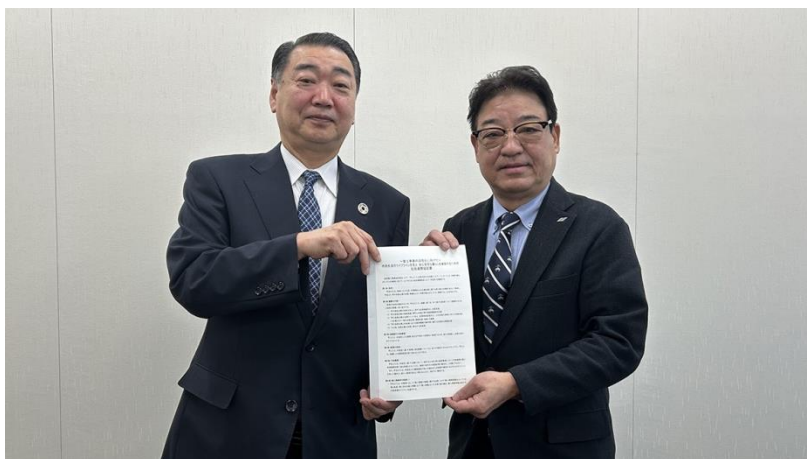


長岡管工事業協同組合との

『持続可能なまちづくりの実現に向けた包括連携協定』に基づく連携

当行は、2025年2月20日に、長岡管工事業協同組合（以下、「当組合」）と当組合の活性化および持続可能なまちづくりの実現に向けて包括連携協定を締結しました。

物価高騰や働き方改革など社会経済環境が大きく変化する中、当組合の会員企業の企業価値向上に向けた取組みや、自社単独では解決できない経営課題の解決に向けた取組みなどについて、長岡に本店を構える当行が連携・協力して支援することで、当組合の会員企業の成長・発展ならびに持続可能なまちづくりに貢献しています。



<写真右：北澤理事長>

● 長岡管工事業協同組合とは

「長岡市水道局公認工事店組合」が母体となり、水道・下水道・ガス・空調・給排水・冷暖房設備などの「管工事」に関わる工事業者が集まって組織した長岡市の組合団体です。地域のインフラを安心・安全に維持するため、業界の活性化に取り組んでいます。

所在地	新潟県長岡市幸町3丁目6番29号
理事長	北澤 和博
設立	1973年（昭和48年）9月25日
組合員数	正組合員：51社 準組合員：41社 （2026年4月現在）
ホームページ	https://www.nagaoka-kankoji.jp/

● 『雪国』長岡市における「管工事業」の役割

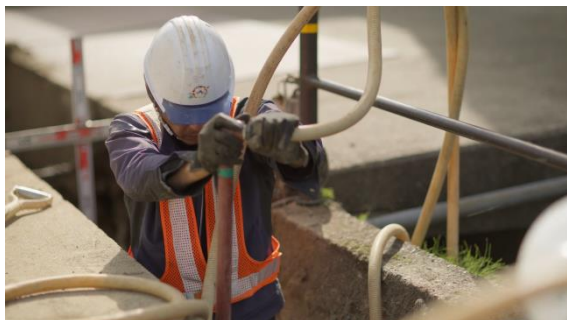
降雪地帯として毎年多くの雪が降る長岡市は、「消雪パイプ」発祥の地です。

1961年（昭和36年）、全国で初めて長岡市に敷設された消雪パイプは、冬の安心・安全を支える重要なインフラとなっています。

管工事業は、市民生活のライフラインを支える水道工事が主力事業ですが、消雪パイプに地下水を供給するための井戸のさく井工事業者と連携して、消雪パイプの敷設工事・維持管理も担います。

水道工事から消雪パイプのメンテナンスまでを手掛ける管工事業は、地域に特化した産業であり、長岡市にとってなくてはならない大切な存在です。

当行は、市民生活のライフラインを支える管工事業の更なる活性化と地域経済の持続的な発展に貢献するため、包括連携協定に基づき、様々な取組みを行っています。



＜管工事現場の作業風景＞



＜管工事現場の作業風景＞



＜消雪パイプ＞



＜消雪井戸・さく井工事の様子＞

● 包括連携協定の内容

- (1) 会員企業の技術力向上に資する企業価値向上、成長支援
- (2) 会員企業の事業承継、専門人材紹介等の経営課題解決支援
- (3) 会員企業の企業マインド向上、従業員満足度向上、人材定着の実現に向けた研修会及び各種セミナー等の企画立案、講師派遣、後援・共催等
- (4) 会員企業との地域における経済情勢や動向等に関する定期的な情報交換
- (5) その他、会員企業の企業支援に寄与すること

● 当行の取組み実績

【「人材」をテーマとした研修会の開催】

当行の地域産業支援部の人材マッチング専担者が講師となり、当組合の会員企業が抱える共通の課題である「人手不足」の解消に向けた研修会を開催しています。

開催日	テーマ
2025年8月25日	人の目につく効果的な求人票の書き方
2025年10月30日	離職防止～職場定着を促すポイント～



【講演会の企画をサポート】

例年開催している当組合の代表者会議において、講演会の企画をサポートしています。2025年11月には、「事業承継」をテーマとし、県内企業の成功事例の情報共有を目的として、事業承継やベンチャー型事業承継（アトツギが新規事業に挑戦する型）の成功事例として新潟県内でも著名な株式会社花安の渡辺安之社長を講師に迎え、ご自身の経験に基づいた事業承継・経営改革・組織づくりについて学ぶ機会を企画しました。



【当行からの情報提供】

2025年2月の包括連携締結後、当組合の会員企業に対し、当行営業店の支店長・営業担当者等が面談を実施し、各企業が抱えるさまざまな経営課題に寄り添い、課題解決に向けて当行本部・営業店が連携してサポートを行っています。

併せて、当組合事務局と当行の地域産業支援部が連携しながら、セミナーや経営スクール、補助金等の情報提供なども定期的に行っています。

事業承継・M&A相談、人材採用支援など、会員企業が抱えるさまざまな課題に向き合い、今後も当組合を全面的に支えていきます。